

私の名前、私の言語、私のインターネット: IDN テストがライブに

ICANN がIDNのグローバルテストを開始

2007年10月15日

米国カリフォルニア州マリーナ デルレイ : 世界中のインターネットユーザが自分のドメイン名を自分の言語でチェックできるようになりました。これは ICANN社 (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) のIDN (Internationalized Domain Names : 国際化ドメイン名) という11言語による割当てドメイン名と番号のライブテストが本日発表されたからです。

「これは当社の開発製品において最も重要なもののひとつです」とICANNの代表取締役社長兼会長であるポール・トゥーメイ博士は語っています。「このテストで使用する11言語を話すインターネットのユーザは、IDNの運用がどうテストされるかにおいて重要な役割を担い、また世界中の全言語でのテストの完全実現に向けても有益です。」

世界中のインターネットユーザは、11言語 (アラブ語、ペルシア語、中国語 [簡体および繁体]、ロシア語、ヒンディー語、ギリシア語、韓国語、イディッシュ、日本語、タミル語) によるドメイン名例テストを使いwiki ページにアクセスできるようになりました。 wikis によりインターネットユーザは、たとえば `example.test/yourname` というように、自分自身のサブページを各自の言語で設定できるようになりました。

ICANN社はまたYouTube での評価プロセスを説明するビデオを掲載しました。このビデオはオンライン [address here] でアクセスできます。

11言語のどれかの文字で`example.test`と入力すると Wikiページにアクセスでき、<http://idn.icann.org> に進んでもアクセスできます。

「wikipagesはテストのカギです。URLがインターネットブラウザでどのように表示されるか、また友人へのメールにURLを切り貼りした場合そのまま正しく表示されるのかを知りたいのであり、またこれがルートゾーンにどう影響するかも知りたいのです」と、トゥーメイ博士は付け加えています。

この11言語によるwikis評価はIDN が完全に実現されるまでオンラインにとどまり、最初のトップレベルのドメインが評価言語で導入されます。

IDNが完全に導入されれば、ユーザが普段読み書きに使用する言語でドメイン名全体を入力することができるようになることを意味します。現時点では“ドッ

ト” の前のみにこれらの使用言語文字を利用することが可能です。したがって .com, .net, .org のような場合は基本ラテン文字のみを入力することができます。IDNを用いることによりこれを変更し、世界中の何万という文字を利用できるようにします。

-30-

ICANN:

ICANN は、様々なプロトコルでインターネットに使用されるドメイン名 (例 : .org, .museum や.ukといった国コード) およびアドレス といった一義の識別名のインターネットシステムのグローバル統括を目指し、インターネット上でコンピュータの相互リンクに貢献しています。インターネット運用にはこれらのリソースの綿密な管理が必要であり、ICANN社の世界中の担当責任者は定期的にミーティングを開きポリシーを制定、インターネットにセキュリティと安定性の確保に努めています。ICANN 社は国際的な組織であり、公益のための非営利団体です。当社詳細は www.icann.org を閲覧してください。

お問い合わせ:

ジェイソン・キナーナン (Jason Keenan)

ICANN メディア・アドバイザー (米国)

電話 : +1 310 382 4004

Eメール: jason.keenan@icann.org

海外 : アンドリュー・ロバートソン

(Edelman社英国ロンドン支社所在)

電話 : +44 7921 588 770

Eメール: andrew.robertson@edelman.com